

支え、支えられる社会へ

伊勢原市立伊勢原中学校

三年 森住 芽依

「手えあ、たかいねえ」

私はある日おばあちゃんにこの言われました。

「私のおばあちゃんには昔はいろいろなおい

しい料理を作ってくれて、外に出た時には猫

が何匹もおばあちゃんのうしろをついていく

ような元気なおばあちゃんでした。だけど今

は体調があまりよくなって、介護施設に入院

しています。そんなおばあちゃんと面会でま

る、と聞いた時は入院してから会える機会

が少なくなっていた私はすごく嬉しくなしま

した。

少しばかり緊張しながら施設内へ入り、お

ばあちゃんのお部屋へと向かいました。部屋に

入ると、弱々しくおばあちゃんが寝ころんで

いました。あいつをみると、つめい来てく

れたの。あやがとうね。と名前を覚えてく

れていったので、今すぐには抱きつまたくなるほ

どに嬉しかつたです。手を差しのハてきたの
で、にきつてほしいのかと思つて私はおばあ
ちゃんの手を包みました。今までたくさんの
料理を作つてみんなを喜ばせてくれた手。
くさんはたらいにくれた手。私をなでてくれ
た手。みんなを支えてきた手。私はゆくり
とずくとにきつて今までのことを思いかえし
ながらおばあちゃんの優しい温もりを感じて
いました。

言いました。

「手えあ、たかいねえ」

私はすぐにおばあちゃんの目を見ました。お
ばあちゃんは昔のようには目にしわをよせる笑
顔で、やさしく私を見てくれていました。見
守つてくれたおばあちゃんの眼差しはとても
温かかたです。私はこの時、おばあちゃん
には私の温もりがちゃんと伝わっているんだ
と感い、胸がいっぱいになった。たのを今でも鮮
明に覚えています。

帰る時、幸せそうな表情で「おばあちゃん、手を振ってくれました。」部屋のそばに立っている施設の方の前を通り過ぎる時に、いつもこのような方たちが支えてくれていているから、おばあちゃんは今でも幸せそうなんだ、と感いしました。私はその人に感謝を伝えたいとも、支えるっていいなとず？と考えていました。

高齢者の方は、日々家族や友人、施設の方たちなど、さまざまな人に支えられて幸せに「今」を過ごしています。だから私もこれを

全力でサポートしたい、支えたい、と思います。

将来、どんな仕事に就くのか、高齢者の方と関わる仕事をするのか、全く関係のない仕事をするのか。これからのことなんて、まだ誰にも分かりません。だって私は、どんなことでも「誰かのため」になる仕事をしたいてす。これを通して今回おばあちゃんがしてくれたように、人を幸せにしたい、何かを伝えられるような人になりたいなと思います。

今日日本は少子高齢化の時代。そのため、高齢者介護、福祉のあり方が現在の社会の課題です。だから今は若い人、つまり私たちが高齢の方を、社会を支えるべき立場だと思っています。逆に考えると、未来では私たちが支えられる立場になります。その時のため、そして今を生きる高齢者の方のため、ほんの小さな事かもしれませんが何かを支えるということをしたいです。それがめぐりめぐって誰もが、支え、支えられる社会をつくっていきけたら幸せだな、と思います。